



発熱・風邪・胃腸炎症状がある患者さんのご紹介について



当院では引き続き、新型コロナウィルスやインフルエンザをはじめとする感染症感染拡大防止の観点から、発熱・風邪・胃腸炎症状がある患者さん（小児患者さんを含みます）につきまして、専門の発熱外来を設け、場所・時間を分けた診察を行っております。そのため、事前の予約連絡なしでご紹介患者さんが来院されると、診療をお受けできない場合がございます。

地域の医療機関さまにはたいへんご不便をおかけいたしますが、発熱・風邪・胃腸炎症状がある患者さんをご紹介いただく場合には、受診調整をさせていただきますので、事前に当院地域医療連携課または病院代表へお電話でご連絡をお願いいたします。

CT・MRI 検査／消化管内視鏡検査のご案内

当院では地域の先生方からのご依頼により、CT・MRI ならびに消化管内視鏡検査を積極的にお受けしております。

通常の場合、患者さんに当院外来各科を受診していただき、担当医の指示により、同日あるいは後日に検査を実施しておりますが、地域の先生方から地域医療連携課経由で検査予約をお取りいただければ、二度の来院は不要となり、予約日にお越しいただくのみで検査をお受けいただくことが可能です。

CT・MRI 検査は単純撮像にとどまらず、水曜日のみではありますか造影検査も実施しております。2024 年度は MRI 検査 508 件、CT 検査 248 件を地域の先生方からご依頼いただきました。

また、消化管内視鏡検査では日本消化器内視鏡学会指導医・専門医による高度かつ負担の少ない検査を提供しております。2024 年度の地域の先生方からのご依頼実績は上部消化管 205 件、下部消化管 24 件でした。

いずれの検査も、ご依頼は地域医療連携課にて承ります。お申し込みに必要な書類や流れなどございますので、お気軽にお問い合わせください。



『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお問い合わせください。

患者さんの紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております

北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL（直通）0261-61-1455 FAX（直通）0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日 8 時 30 分～17 時 00 分 土曜日 8 時 30 分～12 時 30 分（診療日に限ります）

※ 上記受付時間を過ぎますと電話は夜間休日窓口に転送されます



連携課だより

2025 年 12 月発行

JA長野厚生連 北アルプス医療センターあづみ病院 〒399-8695

編集発行／地域医療連携課

TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携広報誌

連携課だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、地域の皆さんから信頼される病院を築きます。

CONTENTS

- ・新任医師紹介
- ・今年も病院祭を開催しました！
- ・第 66 回地域連携懇話会
- ・発熱・風邪・胃腸炎症状がある患者さんのご紹介について
- ・CT・MRI 検査／消化管内視鏡検査のご案内

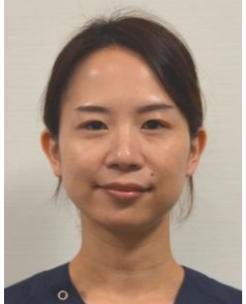
JA長野厚生連

北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

85
December 2025

新任医師紹介

10月より当院歯科口腔外科に1名の歯科医師が着任いたしました。地域の関係機関の皆さんにはこれから大変お世話になります。



久根下 紀香
(くねした のりか)
歯科口腔外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆ 東北大学 (2020年3月卒)
- ◆ 日本口腔外科学会認定医
- ◆ 日本口腔外科学会
- ◆ 日本口腔科学会
- ◆ 日本顎関節学会
- ◆ 日本口腔インプラント学会

◆ 10月よりあづみ病院に赴任しました久根下と申します。松本市出身です。県内出身ではあるものの今まであまり池田町に来る機会がありませんでしたので、趣味の温泉巡りをしながらこの町のことをもっと知れるといいなあと思っています。口腔内のトラブルに悩む患者さんがいましたら、お気軽にご相談ください。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



2025年11月12日開催
あづみ病院 7F やまなみホール

メインテーマ「病院と地域で支える緩和ケア」
講演

- ① 中山京子 あづみ病院 がん診療センター師長 兼 外来師長
- ② 池川香代子 あづみ病院 呼吸器内科・在宅支援科医師
- ③ 降旗理恵 訪問看護ステーションあづみ所長 皮膚・排泄ケア認定看護師

第66回 地域連携懇話会

第66回

地域連携懇話会



2025年11月12日に第66回北アルプス医療センターあづみ病院地域連携懇話会を当院がん診療センターと共に開催いたしました。「病院と地域で支える緩和ケア」をメインテーマに開催いたしました。近隣の医療機関の先生方はじめ北アルプス広域消防本部、地域の訪問看護ステーションの皆様にお集まりいただき、院内職員合わせて34名の参加がありました。

当日は松田正之統括院長と村木崇がん診療センター長の挨拶ののち、地域連携ディスカッションにて当院の2025年度上半期における紹介割合、逆紹介割合の報告と新任医師の紹介がありました。

つづく講演では、はじめにがん診療センター師長兼外来師長の中山京子看護師より当院の緩和ケアの体制や緩和ケアチームの活動内容や実績について報告がありました。続いて、呼吸器内科・在宅支援科の池川香代子医師より施設での妻との生活を大切に考えている肺がんの男性の症例と考えや思いを明確に表明される気丈な女性の症例について報告がありました。多職種それぞれの専門性を活かした関わりが緩和ケアにおいても重要であるとのことでした。最後に訪問看護ステーションあづみ所長で皮膚・排泄ケア認定看護師の降旗理恵看護師から自身の身近な人を看取った経験を交えながら、緩和ケアにおける訪問看護師の役割や実際の関わり、介入までの流れについてお話しがありました。地域においていかに看取りの文化を醸成していくかが課題であると提言がありました。

講演後の質疑応答も非常に活発なやり取りが展開されました。訪問診療医、病院看護師、訪問看護師、消防署員、病院の医療ソーシャルワーカーのお立場からそれぞれの臨床場面での看取りの現状や課題について発言がありました。

住み慣れた地域で最期までご本人が希望するかたちで過ごすためにわれわれ専門職に何が求められているのか、そして地域全体で「死んでいくこと」「看取っていくこと」の文化をどのように醸成していくのか、こうしたことを考える機会が与えられた地域連携懇話会でした。（がん相談支援センター 認定がん専門相談員／MSW 西澤亞紀）



毎年恒例の病院祭を10月19日に開催いたしました。当日は地域の皆さんや関係する皆さんに足をお運びいただき、2,000名超の来場がありました。前日に雨が降るなど、肌寒い日ではありましたが、お天気にも恵まれ、会場はちびっこからご年配の方まで大勢の方で賑わい、たいへん盛り上がりしました。屋内外の展示場では健康測定ブースや体験型ブースをはじめ、さまざまな催し物を企画し、お楽しみいただきました。

地域の皆さんとのきずなを強く感じるとともに、地域に暮らす多く方の健康を支えられるように、これからも病院をあげて努力を続けていきたいと思います。来年の病院祭にもぜひご来場ください。